



逗子ハイランド自治会

×

聖和学院中学校・高等学校

# 地域の防災・減災 プロジェクト

## オンラインイベント

協働活動 中間報告会

2021年8月23日(月)

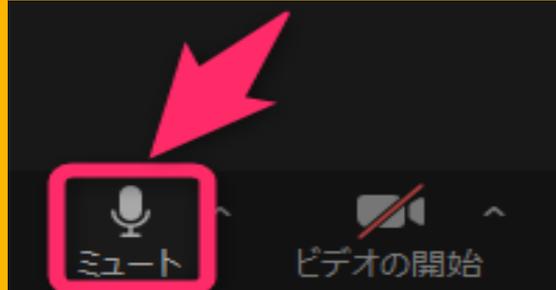




## 開会前に ご協力をお願いします

# Hello!

### ① 音声 & 画面をoff にしてください



「ミュート」「ビデオの開始」ボタンで、音声on/off・画面on/offの切り替えができます。

今回のイベントでは、発言するとき以外は **ミュート** にしていただくよう、お願いいたします。

### ② お名前の変更をお願いいたします

学生（聖和学院以外）の皆さん	：【学年・ひらがな名字】	→ ex 「小6 みぞぐち」「高2 にしむら」
社会人の皆さま	：【ご所属・ひらがな名字】	→ ex 「●●消防署 さとう」
聖和学院の皆さん・先生	：【聖和・学年・ひらがな名字】	→ ex 「聖和 中3 こばやし」「聖和 教員 ゆかわ」
PJメンバー	：【★・学年・ひらがな名字】	→ ex 「★高1 くぼた」

### ③ 困ったときは……



「手を挙げる」ボタンを押す  
もしくは  
チャットに状況を書き込んでいただくと大変助かります。





## 本日のスケジュール

16:00 ■ はじめに 時間割確認など

■ 協働活動を始めた背景  
活動状況概要 15分

■ 各課題の検討と意見交換  
<発表>

- 防災ハンドブック 5分
- 避難所マニュアル 5分

<Breakout room> ① 15分  
<全体共有> ① 5分

<Breakout room> ② 15分  
<全体共有> ② 5分

17:30 ■ 本日の総括 5分

聖和学院

# Schedule

聖和学院/自治会防災部

聖和学院



聖和学院/自治会





## 本日のスケジュール

16:00 ■ はじめに 時間割確認など

■ 協働活動をはじめた背景  
活動状況概要 15分

■ 各課題の検討と意見交換  
<発表>

- 防災ハンドブック 5分
- 避難所マニュアル 5分

<Breakout room> ① 15分  
<全体共有> ① 5分

<Breakout room> ② 15分  
<全体共有> ② 5分

17:30 ■ 本日の総括 5分

NOW

聖和学院

# Schedule

聖和学院/自治会防災部

聖和学院



聖和学院/自治会



聖和学院



逗子ハイランド自治会

# 協働活動を始めた背景 現在までの活動状況概要

- 協働活動発足の背景
- 協働活動のKick-off
- 協働活動のスケジュール
- 現在までの活動状況
  - ✓ ハイランド見学会
  - ✓ 月例連絡会
- 世代を超えた協同チーム



Growing up  
in ZUSHI

### 学校から始まる、逗子での活動

毎日通っている逗子だから、何か地域にできることはないか。市内に2つある私立中学校・高等学校では、自主的に集まった生徒を中心に逗子のまちと関わるプロジェクトが進行中です。



interview  
1

聖和学院中学校・高等学校

### 地域の防災・減災プロジェクト

## 『地域の皆さんとともに防災を学ぶ』

● 構成 先生の呼びかけで集まった  
防災に関心のある  
中学3年～高校3年 15人



● これまでの活動 2020年～

- 6月 プロジェクト発足
- 8月 オンラインイベント開催
- 8月 オフラインイベント開催
- 11月 自修館中等教育学校のオンライン文化祭に参加
- 12月 奈良女子大学附属中学教育学校と意見交換会に参加
- 1月 「広報ずし」掲載
- 2月 神奈川新聞掲載
- 3月 J:COM ニュース番組 出演  
オンラインイベント開催



ともに

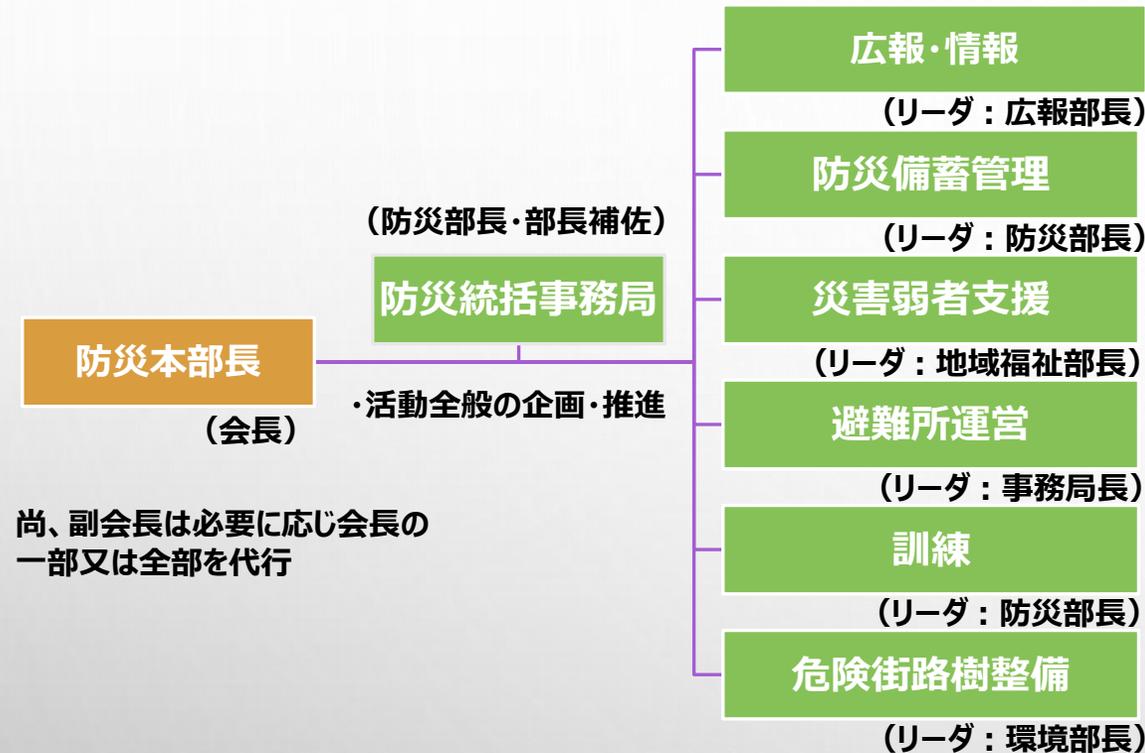
様々なアプローチ

活動の進化/深化と志事

地域の人たちともっと一緒に『防災・減災』を考えていきたい！

# 逗子ハイランド自主防災組織

## 協働活動発足の背景



尚、副会長は必要に応じ会長の一部又は全部を代行

平常時の活動	災害発生時の活動	連携
防災知識の普及 (防災関連投稿など)	災害情報収集伝達	事務方・常任区長・区長・組長
防災資機材備蓄・管理	防災資機材提供	常任区長・区長・組長
見守り対象者の抽出 支援プラン作成・声かけ	安否確認 (必要な支援)	民生委員・高齢者見守り隊
避難所運営マニュアル 策定・更新	避難所運営	自治会館管理運営委員会
訓練計画策定 訓練の実施	(訓練の実践)	自治会役員・常任区長・区長・組長
倒木危険樹木の 事前処理	倒木の事後処理	環境活動チーム

実効性の拡大/実行性の向上

地域の『防災・減災』活動に若者の発想と力を・・・！

令和3年5月28日

# 聖和学院・逗子ハイランド自治会協働活動Kick-off



## ■ 取り組みの進め方と狙い

- ✓ 進め方：プロセス重視（Focus on thinking process）
- ✓ 狙い：世代を超えた協力と効果（Synergistic effect across generations）

## ■ 取り組みアイテム

- ✓ ハイランド住民に配布する防災ハンドブック
- ✓ ハイランド自治会館避難所運営マニュアル



# 協働活動のスケジュール



注1 上記日程は目安であり、報告会及び月例連絡会の確定日時については、事前に確認・調整・決定する。

注2 コロナ禍での対応として、各会は当面の間Zoomで実施する。尚、ホストはスキルのある聖和学院にお願いする。

# ハイランド見学会



水道山



清寿苑



桜のアーチ

まとめ会 @ 自治会館







半世紀の世代を超えた



防災・減災協働千一〇



## 本日のスケジュール

16:00 ■ はじめに 時間割確認など

■ 協働活動を始めた背景  
活動状況概要 15分

■ 各課題の検討と意見交換

<発表>

- 防災ハンドブック 5分
- 避難所マニュアル 5分

<Breakout room> ① 15分  
<全体共有> ① 5分

<Breakout room> ② 15分  
<全体共有> ② 5分

17:30 ■ 本日の総括 5分

NOW



聖和学院

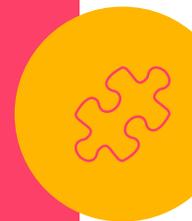
# Schedule

聖和学院/自治会防災部

聖和学院



聖和学院/自治会





聖和学院



逗子ハイランド自治会

# 防災ハンドブック検討状況

- コンセプト（キーワード）検討
- 他作成事例の調査からの意見集約
- ハイランド見学会
- 中間まとめ
  - ✓ キーコンセプト
  - ✓ 記載項目、スタイル（案）



# コンセプト (キーワード) 検討

# 防災ハンドブック

課題 昨年度の返子ハイランドの自主防災活動（共助）に加え、更に地域の防災・減災力を高めるため、住民の方々の災害に対する知識、対応力（自助）を強化するためのガイドラインを伝えるハンドブックの作成。

伝える

誰に

何を

どのように

★ 家族の中心は若者？  
→ 若者に全体の底上げ役として、家族の引き綱の役割を！  
→ 支えの役割は若者が重要

ハンドブック  
コンセプトづくりの  
ためのキーワード

★ 単身の方はどうする？  
→ 地域と一緒に考えよう  
→ 対策を講じていこう  
→ 近所、周囲の方々の援助も大切

ハンドブック  
コンセプトの  
方向づけ

→ 近所の方々の挨拶、会話で  
今の聖相を伝えること。  
コミュニケーションの深めを  
大切にしよう。

- ハイランド住民
- ハイランド在住 10代(小5~)の若者
- 子ども (家族と)
- 学生若者
- 家族

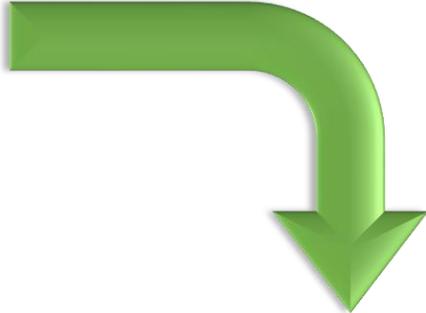


- じぶん防災**
- 近隣の災害弱者の援助
- 生き残る術
- 日ごろの準備
- 他地域経験活かす
- 隣人も援助
- 情報を取捨選択
- ミニゲーム (遊べる仕掛け)
- 世代別コーナー**
- 避難経路と街の良さ & 写真 (地域を好きになれるように)
- 誰かに自慢したくなる情報

- ゆるキャラ防災 コンシェルジュ
- アニメキャラクターの活動
- 簡単平易
- 必要最小限
- 地域特性
- 現実的
- わかりやすい言葉
- 文字を大きく
- ( ) などを設け書き込んで完成の形
- QRコードを付けて 飛ばすとゲームへ
- 配色 デザイン

あきほいとうに!! ex. ロードゲーム  
→ 防災について、自ら考えることが重要  
そのためのゲームには、工夫を要する

字にこだわって  
考えられるアイデア!!

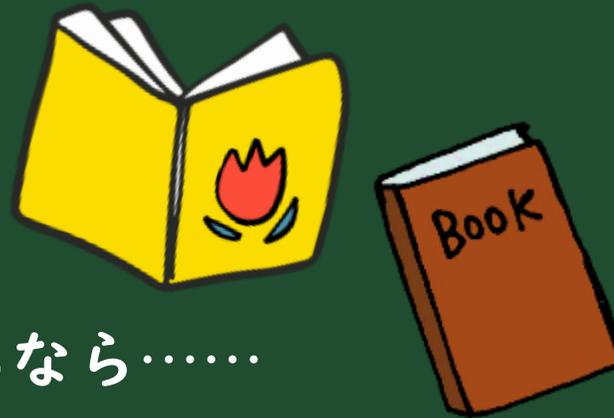


## キーワードまとめ

- 誰に
  - ✓ 若者が家族の防災対応をリード
  - ✓ ご近所同士の互助を促す
- 何を
  - ✓ 自分のオリジナルハンドブック
  - ✓ 自分のプラン/事情を書き込める
  - ✓ 世代別/性別の特徴を反映
- どのように
  - ✓ どの世代にも分かりやすい言葉
  - ✓ 親しめる配色/デザイン
  - ✓ ゲーム形式で防災知識を学習

## ■ハンドブック班 調査報告■

- ・必要なもの一覧
- ・災害発生時にとるべき方法
- ・逗子の地域の避難所マップ一覧



## ★聖和ならではの内容を取り入れるなら……

- ・避難所とは？特徴を説明するもの
- ・非常食のレシピ
- ・避難所でのすごしかた
- ・マインドケア

- ➡あたたかな心をもって  
他者に寄り添えるように
- ➡相手の心に近づけるように



## グループ対話後のまとめ

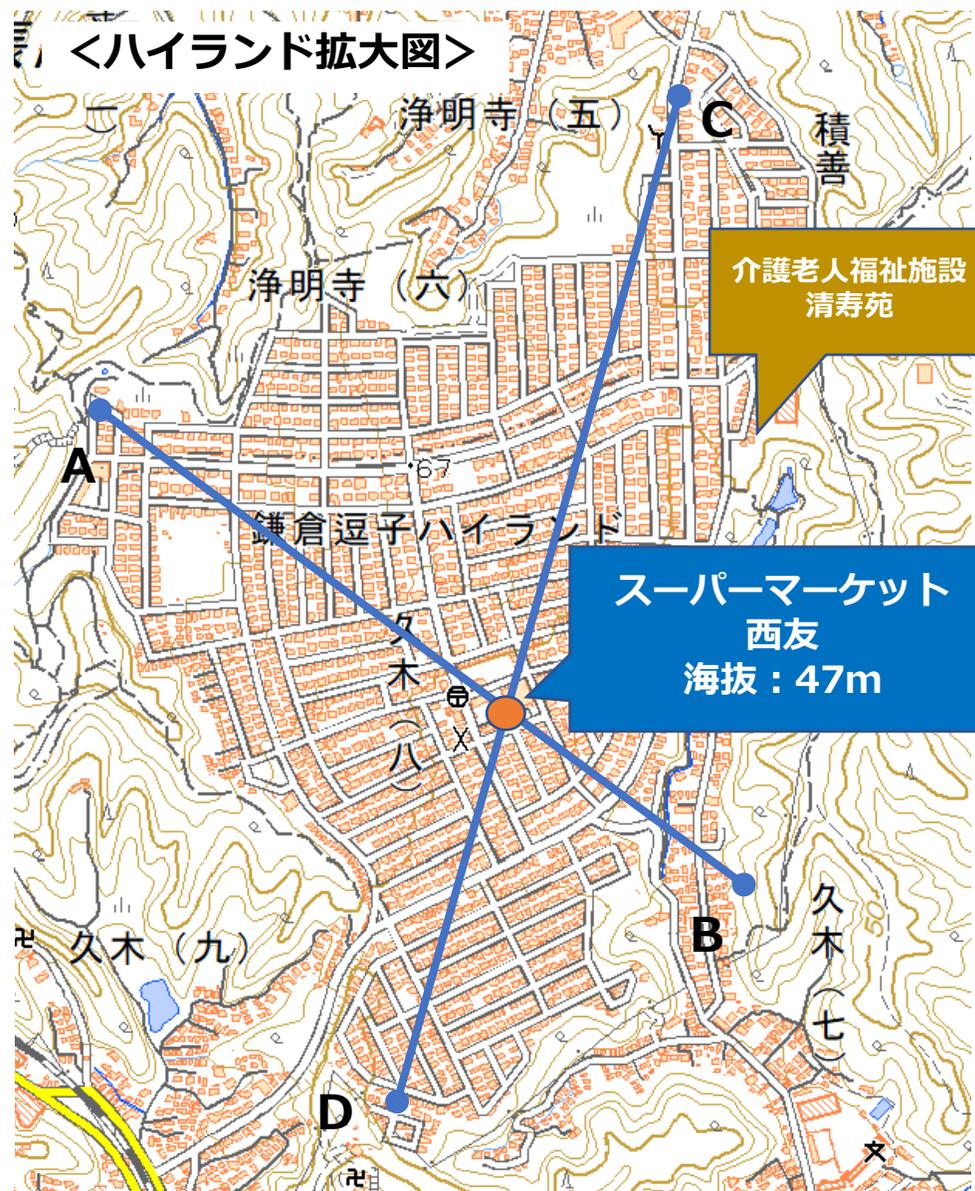
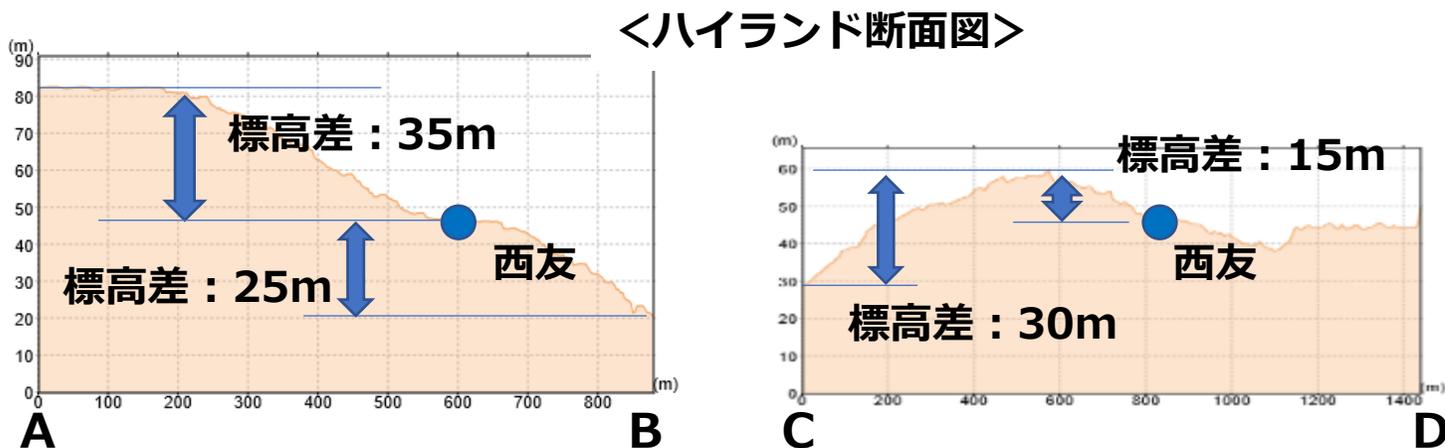
- ・ネットが繋がらないときの対策
- ・地域特化の対策
- ・一人ひとりにあった避難方法をあらかじめ考えておく  
➡自分で考える！それをうながすハンドブック

## ■高い標高ときついアップダウン

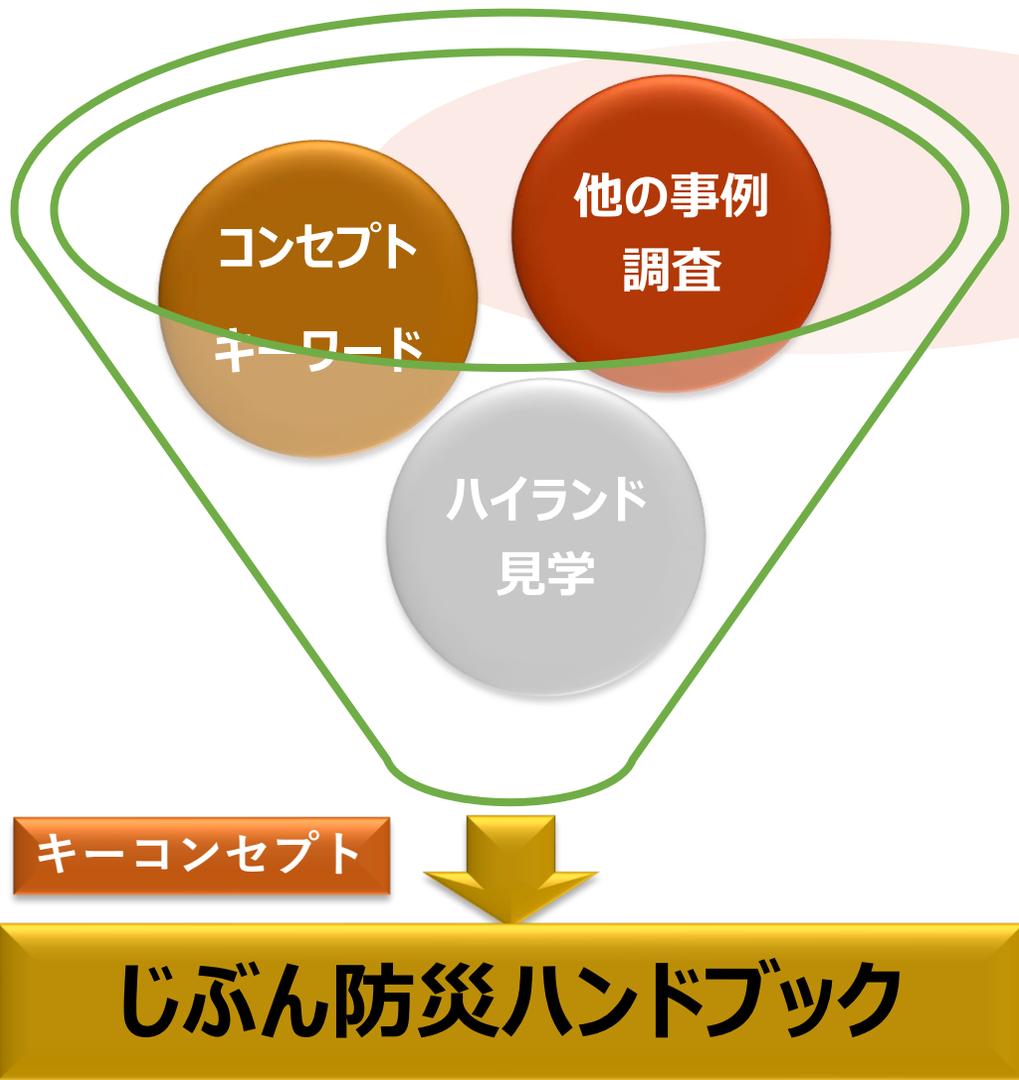
- ✓ 山を造成した傾斜面の住宅地  
(海拔20m~80m)
- ✓ 逗子ハイランド地区：約1300世帯  
：約3600人  
(旧建築基準は全体の5%)

## ■ハイランドの災害リスク

- ✓ 津波・水害のリスクはほとんどない
- ✓ 主なリスクは地震・崖崩れ・風害



記載項目/スタイル方向づけ (案)



■ 災害を知る/自分の地域を知る

- ✓ 地域の災害リスク (ハザードマップなど)
- ✓ 地域の防災マップ (避難所など)
- ✓ 災害への備え (地震、風害などへの対策)
- ✓ 内閣府・消防庁避難指示

■ 自分で考える/自分で作り込む

- ✓ 被害を想定したわが家の避難方法の検討
- ✓ 自分の家族に必要な防災備蓄品リスト (高齢者、妊婦、幼児・・・)
- ✓ わが家の防災メモ (公助への緊急連絡、家族親戚への連絡・・・)
- ✓ ご近所との互助 (安全確認、情報提供など)

■ 家族誰もが見やすいハンドブック

- ✓ 分り易さ、親しみ易さ、ゲーム感覚・・・



## 本日のスケジュール

16:00 ■ はじめに 時間割確認など

■ 協働活動を始めた背景  
活動状況概要 15分

■ 各課題の検討と意見交換  
<発表>

- 防災ハンドブック 5分
- 避難所マニュアル 5分

<Breakout room> ① 15分  
<全体共有> ① 5分

<Breakout room> ② 15分  
<全体共有> ② 5分

17:30 ■ 本日の総括 5分

NOW



聖和学院

# Schedule

聖和学院/自治会防災部

聖和学院



聖和学院/自治会





聖和学院



逗子ハイランド自治会

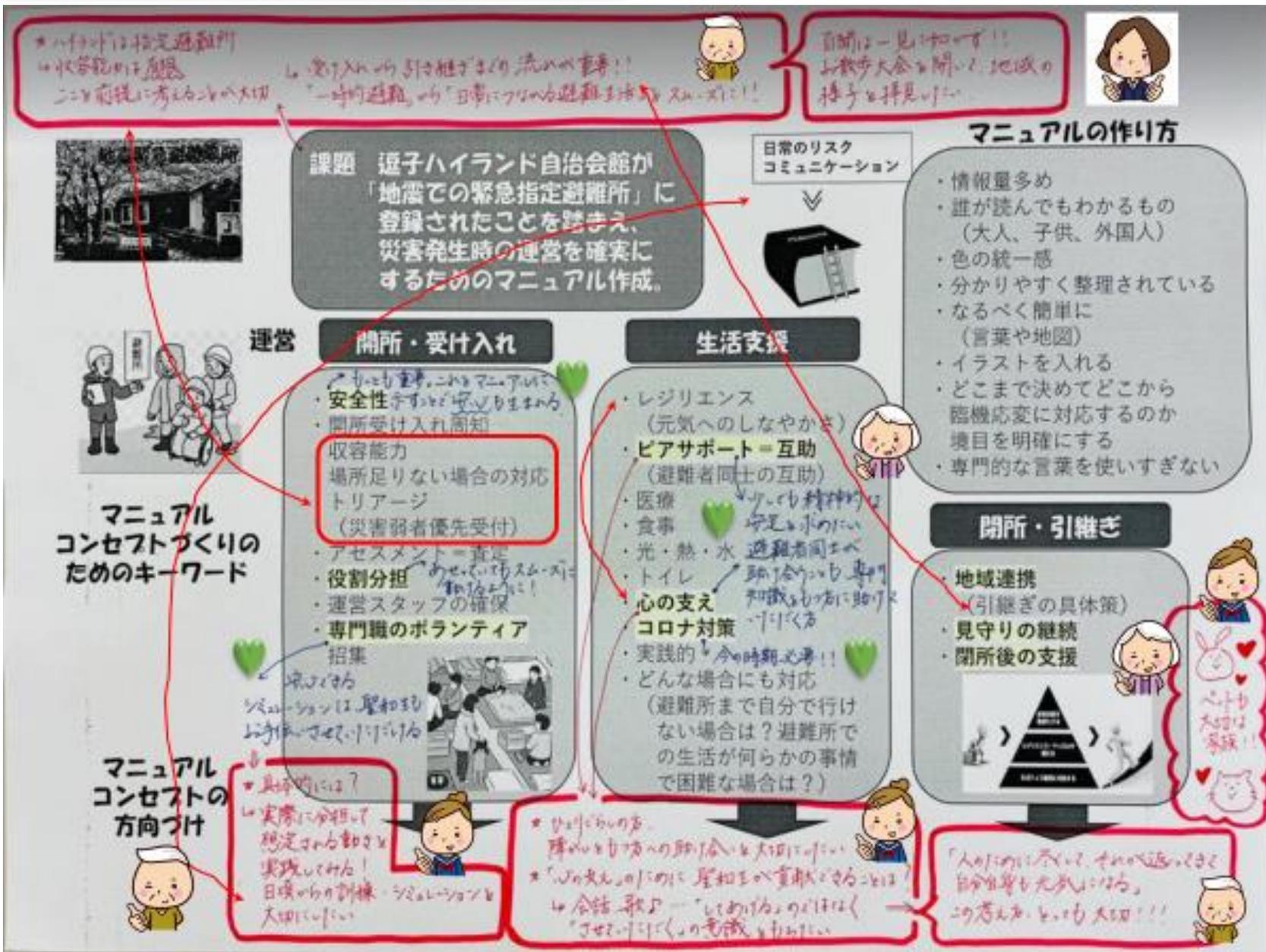
# 避難所マニュアル検討状況

- コンセプト（キーワード）検討
- 他作成事例の調査からの意見集約
- ハイランド見学会
- 中間まとめ
  - ✓ キーコンセプト
  - ✓ 記載項目、スタイル（案）



# コンセプト（キーワード）検討

# 避難所マニュアル



## キーワードまとめ

- 逗子ハイランド自治会館の役割
  - ✓ 地震に特化した一時避難所
    - ・ 入口、出口管理
- 開所・受け入れ
  - ✓ 施設の安全確認
  - ✓ 受付のトリアージ（弱者優先）
- 生活支援
  - ✓ 安全・安心の生活の場を提供
    - ・ 物資の提供
    - ・ 避難者同士の互助
    - ・ 医療などの専門家と連携
  - ✓ 元気を取り戻す心の支え
    - ・ ペットも大切な家族
    - ・ 災害弱者へのサポート
  - ✓ コロナなどの感染症対策
- 閉所・引継ぎ
  - ✓ 中長期避難所への引継ぎ具体策

## ■ マニュアル班 調査報告 ■

- ・ 誰もが安心して利用できる避難所
- ・ 感染症対策の指針
- ・ 情報の取得・管理・共有の手段
- ★ 避難所の早期解消 → 生活再建
- ・ 特別ニーズへの対応
- ★ あらゆる立場の方の「心理的ケア」を重視する



## グループ対話後のまとめ

- ・ せまい空間で3日間、どうすごすか？ → 具体的に考えることが必要！
- ・ 多様な「〇〇したらどうするか」を考える
- ・ 配慮の必要な方へのケア
- ・ 優先順位をつけながら考える！ → あらかじめ伝えておくことが必要

# ハイランド見学会 避難所レイアウト

: 逗子ハイランド自治会館、公園テント、駐車場

## 避難所マニュアル

西ヶ丘公園まわり

公園/駐車場避難者生活スペース



### 防災倉庫

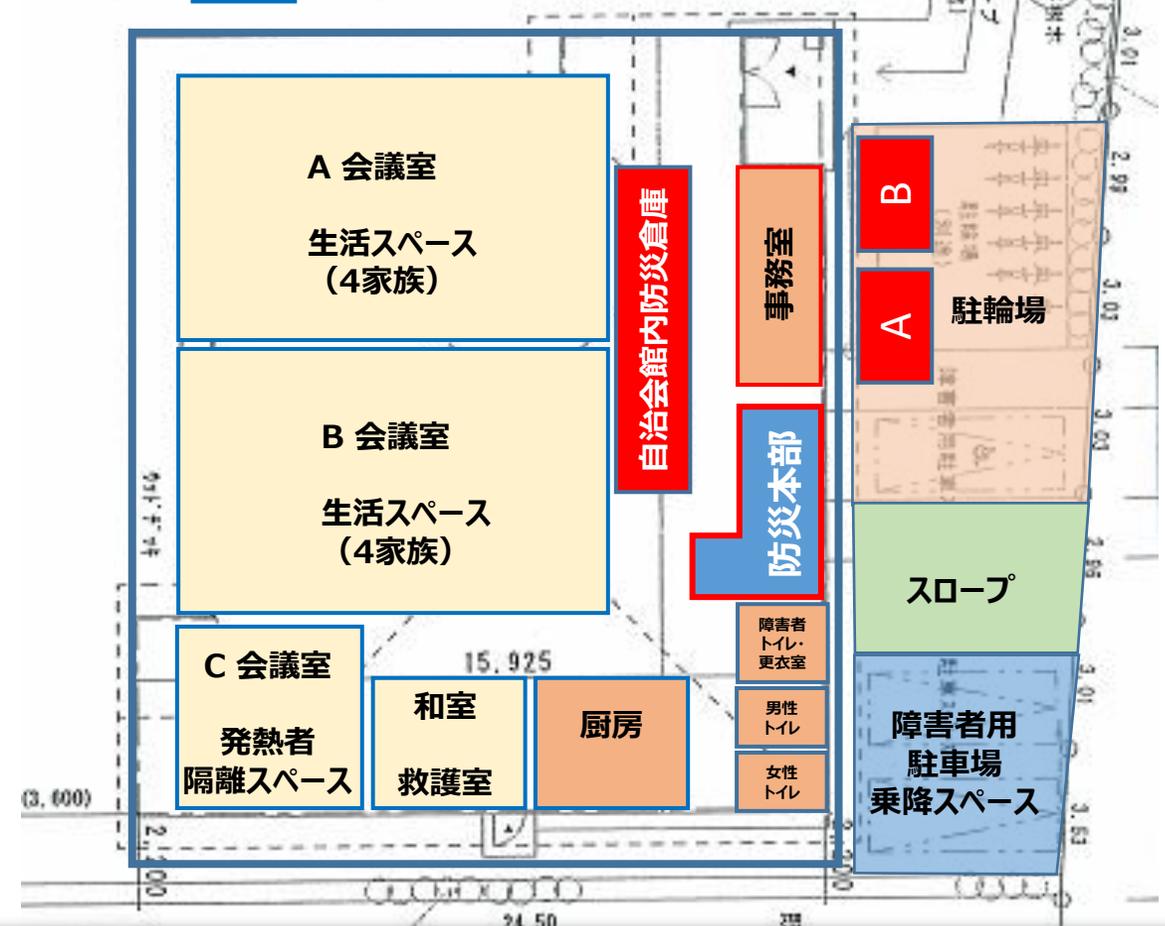
- ✓ 自治会館内：食料
- ✓ A：飲料水
- ✓ B：飲料水・トイレ衛生用品
- ✓ No1：避難所用品
- ✓ 地区：救助・救護資機材

No1

自治会館

## 逗子ハイランド自治会館

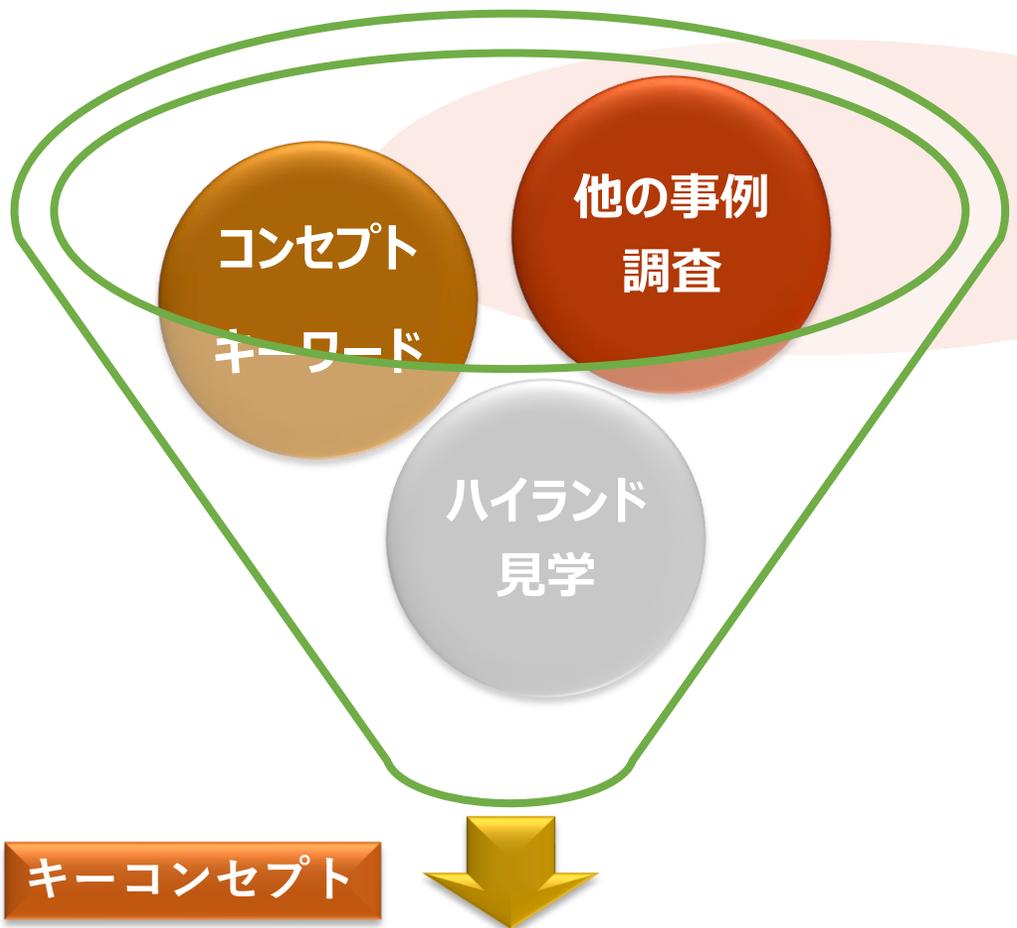
自治会館内避難者生活スペース他



逗子ハイランド避難所避難者収容能力（家族数）目安  
: 会館8/公園6/駐車場9 計23家族 70人程度

大規模地震発生時の想定必要収容能力の約40%

記載項目/スタイル方向づけ (案)



地震発生直後の一時避難所

- 自治会館避難所の基本的な位置づけ
  - ✓ 自治会館避難所の役割
  - ✓ 地域避難所との関係
  - ✓ 自治会館避難所の収容能力
- 開所時、閉所時の流れ (逗子市との覚書)
  - ✓ 開所・開所周知・受け入れ・状況報告
  - ✓ 引継ぎ・閉所・閉所周知・利用状況報告
- 避難所運営 (Max3日間の運営)
  - ✓ 本部及び各活動班の構成
  - ✓ 本部及び各活動班の役割
- 特記事項
  - ✓ 施設の安全確認
  - ✓ 受付でのトリアージ (災害弱者優先受付の方法)
  - ✓ コロナ対応
  - ✓ ペットの受け入れ方法
  - ✓ 物資の提供 (含む、在宅避難者)
  - ✓ 公助・医療機関との連携



## 本日のスケジュール

16:00 ■ はじめに 時間割確認など

■ 協働活動を始めた背景  
活動状況概要 15分

■ 各課題の検討と意見交換  
<発表>

- 防災ハンドブック 5分
- 避難所マニュアル 5分

<Breakout room> ① 15分  
<全体共有> ① 5分

<Breakout room> ② 15分  
<全体共有> ② 5分

17:30 ■ 本日の総括 5分

NOW



聖和学院

# Schedule

聖和学院/自治会防災部

zoom

\* 防災ハンドブック班  
…名前のはじめに「ハ」

\* 避難所マニュアル班  
…名前のはじめに「マ」

聖和学院



聖和学院/自治会





# 本日のスケジュール

16:00 ■ はじめに 時間割確認など

■ 協働活動をはじめた背景  
活動状況概要 15分

■ 各課題の検討と意見交換  
<発表>

- 防災ハンドブック 5分
- 避難所マニュアル 5分

<Breakout room> ① 15分  
<全体共有> ① 5分

<Breakout room> ② 15分  
<全体共有> ② 5分

17:30 ■ 本日の総括 5分

聖和学院

# Schedule

聖和学院/自治会防災部

聖和学院



聖和学院/自治会

NOW



# Thank you!

アンケートへのご協力をお願いします

【 <https://forms.gle/QGPwckFqLVK5qDaf6> 】





## 中学3年 C・K

# Review

### 【対話を通して得た気づき・学び】

ハンドブックを**読む相手に寄り添ったものにする**ために、皆さんが持っている疑問や不安、詳しく知りたいと思うことを知る必要がありました。ですから、今回設けられたグループアウトセッションで質問をしてみました。すると「どのような状況であれば避難できるのか」、「土砂災害が起こる兆候にまつわる地域の言い伝え」などハンドブックの内容が深くなるテーマのアドバイスをいただきました。ぜひ生かしたいと思います。

このように様々な方と対話をしながら意見を深め、聖和ならではのハンドブックを作成していきたいです。

### 【感想・お礼】

防災減災PJの振り返りと、ハンドブックをどのような内容にしたいのかを発表しました。これまで考えてきたことを大勢の方にお伝えするのはとても楽しかったです。そして、私たちは短いようで長い活動をしてきていて、**少しずつ前進している**ことに気がつきました。

ハンドブックも形がぼんやりと見えてきました！





## 高校1年 S・K

# Review

### 【対話を通して得た気づき・学び】

質問をして答えていただいたり、発表を踏まえてのお話をしたりしました。

・ハンドブックとマニュアルに入れるべき内容 ・防災無線 ・ハザードマップ など……

### 【感想・お礼】

ハプニングもありましたが、ブレイクアウトセッションがとても楽しかったです!「避難するタイミングのさじ加減は難しく、なかなか危険性が伝わらないことがある」「情報に頼りすぎないで**自分で考えて避難すること大切**」と教えていただいたことが、とても心に残りました。

逗子の防災無線についても沢山話していただき、とても勉強になりました!「防災無線は、使えるが普段でもよく聞こえなかったりするので、各家で聞けるシステムが必要」「無線が聞こえていなくても、市が無線を流した、ということで終わってしまうこともある」など改善点も沢山話しました。長野県での防災に対する工夫など、**他の地域での防災減災への工夫**が聞けて、とても楽しかったです!

久しぶりの発表ということもあり、ミスが多くなってしまいました…。今までで一番緊張した報告会でしたが、たくさんの方に助けていただき、成功することができました!本当にありがとうございました!これからのプロジェクトへの楽しみがますます増えた会でした!





## 高校1年 M・N ①

# Review

### 【対話を通して得た気づき・学び】

#### — 散策の振り返りと生徒の感想

まずは、全員が楽しかった、有意義な時間を過ごせたと話していました。**資料を見るだけでは分からなかった**地形や周りの状況を詳しく知ることができた、自然がきれいに整備されていることや倉庫の中がしっかり整頓されているところなどを見てハイランド自治会の方々の意識や気持ちが表れていると感じたなどの感想が挙げられていました。

#### — ハイランド見学会と避難所レイアウトについて

返子ハイランドの避難所・避難場所レイアウトは発表スライドの通りです。防災スペースの収容人数は23家族で地域全体の40%に当たります。その中での**優先順位**などについての考えをお話します。避難に訪れた方々をその場で収容できる人数や優先順位を見分けることは不可能なため、避難された方々全員に家族・持病などを書いていただく名簿などを作成するなどして人数の把握や優先順位の判断をすることが必要だと感じました。またペットの収容場所があるため健康状態に問題のない飼い主の方はそちらで待機していただくことでもう少し多くの避難者を受け入れることができるのではないかと思います。

#### — ブレイクアウトセッションルーム2

自分の地元ではない場所を本気で調べて形にしようとする心意気が素晴らしいとほめていただきました。また、ハイランドの自治会の収容人数が全体の40%ですので、その中での優先順位の判別について、「災害弱者」といっても一人ひとりに合った対応が必要なため、福祉避難所など専門的な場所を活用することの重要性を共有しました。**地域の方々との関係を深く作ることで、一人ひとりに合ったマニュアルを作成**することができます。マニュアルだけでなくハンドブックとの関係性の重要視することでハンドブックとマニュアルに食い違いがおきないようにしたいです。





## 高校1年 M・N ②

# Review

### 【感想・お礼】

● **様々なお立場の方々**に参加していただいたことで、**多方面からたくさんの意見をもらう**ことができ、成長になったと思います。生徒の中でも違ったブレイクアウトルームだったと思うので、それぞれでいただいた言葉を生徒同士でも共有できたらいいと思いました。

本日はおいそがしい中ご参加くださり、本当にありがとうございました!ハイランドの方や私たち聖和生だけでは見つけることのできなかった課題や解決策など、ためになるお話ばかりで本当に有意義な時間でした。専門的な知識やその人だからわかるお話も伺えて良かったです。平面から立体にすることでわかりやすくすることなど、ハザードマップに関しても模型を作れたらたのしいと思いました!

発表した後に皆さんがくださる反応やチャットがとてもうれしかったです。これからも様々な知恵をお借りしてより良いものを皆様とつくっていけたらと思います!本日は本当にありがとうございました!





## 高校1年 Y・M

# Review

### 【対話を通して得た気づき・学び】

● 中間発表、発表についての感想、マニュアル・ハンドブックをよりよくするには

### 【感想・お礼】

ご迷惑をお掛けした部分もあるかと思いますが、自治会の皆さんが「やってよかった」と最後におっしゃってください、とても安心しました。そして、ブレイクアウトセッションでは**様々な視点からご意見**をください、防災・減災だけでなく**普段の生活や学校生活でもためになる**機会となりました。

また久しぶりの発表となり、少し私自身不安でしたが、自治会の方が資料作成などのサポートをしてくださり、とてもありがたかったです。そして何よりも本番、参加してくださった方々が様々な面でフォローしてくださって本当に助かりました。ありがとうございました！





## 高校2年 A・S ①

# Review

### 【対話を通して得た気づき・学び】

#### —1回目のブレイクアウトルーム

ハンドブックにはどんなことを入れるべきかについて意見を出し合いました。災害はいつ起きるか分からないということから、突然起きても慌てないようにするためのチェックリストや、携帯電話が使えなくなってしまった時の連絡手段である災害時伝言ダイヤルの使用方法や、**それぞれの事情に合わせて書き留めることが出来るようなハンドブック**が良いのではないかという案が出ました。また、ハンドブックを全員が読んでくれるか分からないということで、新たな視点として、緊急時の避難場所や連絡先などを記したものを目につきやすいところに貼っておける何か（ポスターなど）があれば良いのではないかという意見も出ました。

#### —2回目のブレイクアウトルーム

1回目のお話からさらに発展させて、もし何かあった時には**地域の方々と協力**すべきだということについて考えました。しかし、最近近所付き合いの希薄化が問題になってきていることを取り上げ、これをどうするべきかについてお話しました。例えば、医療機関の方（かかりつけ医）と協力して、Aさんは何の薬を飲んでいるかについてあらかじめ知っておくことや、日頃地域の人とあまり関わってこなかった方々に関しては、地域にはこんな人が住んでいるということについてのマニュアルを渡すなどというような意見が出ました。これらをまとめて、災害時だけでも**助け合える仕組み**をハンドブックに記載するとよいのではないかということになりました。一方で、地域には多くの方が住んでいらっしゃるということで、多言語や点字のハンドブックを作っておくと地域の方が慌てずに行動出来るというような意見も出ました。また、もし何か災害が起きてしまった時に対応できるよう、あらかじめボランティアの方を募っておくことで地域の方と協力できるのではないかと言うようなお話を最後にしました。





## 高校2年 A・S ②

# Review

### 【感想・お礼】

防災減災プロジェクトに参加させていただいてまだ少ししか経っておらず、最初はとても緊張してしまいました。どうすべきか分からず言葉が詰まってしまうことも沢山ありましたが、「自分は今どうすべきか」を考えながらお話に参加することが出来ました。

そして、今回参加させていただいてお話を聞いてみると**自分が考えたことのないような意見**を伺うことが出来ました。ハンドブックを作るだけでも一苦勞するし、ハンドブック以外にも考えなければいけないことが沢山あるということを実感し、改めて災害というものの怖さというものを感じました。

これから私は日常生活の色々な場面で「今災害が起きたら」ということを意識しながら過ごしていきたいなと思いました。本日はありがとうございました！





## 高校2年 M・Y ①

# Review

### 【対話を通して得た気づき・学び】

#### —避難する基準について

コロナ禍で、避難することに抵抗を覚える人も居るのではないか。  
二次災害の有無で判断するべきでは？

#### —近所同士の助け合いが必要

特に**一人暮らし**だといざという時に不安……だが個人情報をごとこまで教えれば良いのか。

#### —個別支援

妊婦の方、外国の方、ご高齢の方対象（市が運営）の利用も視野に入れたい。

#### —ハンドブックについて

様々な人が見るから共通している部分もあれば、妊婦の方や要介護者の方等特筆すべきこともある。  
**誰が見ても分かりやすく役立つ**ように。





## 高校2年 M・Y ②

# Review

### 【感想・お礼】

プロジェクトに参加したばかりな上にたくさんの有識な方々と話すということで、とてつもなく緊張しました。話がまとまらずに言葉が詰まることも多々あったのですが、優しく見守ってくださってとても話しやすい雰囲気でした。

**皆さんの考えは十人十色**で私たち生徒だけでは分からない視点からのご意見を伺うことができ、とても良い刺激になりました。これからの活動でこの姿勢を生かしていきたいと思います。

本当に有意義な時間をありがとうございました！





## ご参加くださった皆さま

# Message

- 発表者の生徒の皆さんが、堂々と話をされていて感動しました。  
また、ブレイクアウトセッションで、目上の方ばかりを相手にファシリテーターを行うのはとても難しかったと思いますが、懸命に話を回しながらまとめようと試みていて、素晴らしいなと思いました。  
今回出た課題を今後どのように発展解決させていくのか、今後のプロジェクトの進展に期待しています。本日はありがとうございました！
- 昨年度の取り組みが継承されている。マニュアル、ハンドブックという具体的なプロダクトがあるため、対話もしやすく深まりもあるプロジェクトになるのではないだろうか。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。生徒の皆さまの熱意に終始感動しておりました。  
ぜひ今後もこのような皆さまとの対話の時間をいただければ幸いです。  
生徒の皆さまの視点は、とても新鮮でこちらは学ぶことばかりです。  
ぜひ、皆さまから感じる疑問や違和感(ハザードマップがわかりにくいなど)を、良い形にするため大切なヒントと捉え、新しいアイデアで形にしていってください。





## ご参加くださった皆さま

# Message

■発表者の皆さん本当にお疲れ様でした！皆さんの成長に本当に感動しっぱなしでした!!!  
今まで聖和生同士で話し合ってきたこと、自治会の皆さまや本日ご参加くださった皆さまから吸収したことを後半は形にしていけるよう頑張っていきましょう。  
たくさん吸収してきたからこそ載せたい情報があると思います。  
でも、多くの情報で文字ばかりだと手に取らなくなってしまうので、取捨選択しながらシンプルでわかりやすく、身近なものができたら良いなと思います!!!  
これからまた成長していく皆さんの姿を楽しみにしています！ありがとうございました!!

■大変素晴らしい報告会でした。  
生徒の皆さんが、主体的に考え・発言されていたご様子に、大変驚き、また感銘を受けました。  
地域の人達と学び、それを生活に活かしていく、という経験は、これからの皆さんの人生にとって大変意義深いことだと思いますし、また逗子市にとっても大きな力になります。  
ぜひ、これからも頑張ってください。大変勉強になりました。ありがとうございました。  
よろしければ、私も入れてもらえると嬉しいです。またぜひ、声をおかけ下さい。





## ご参加くださった皆さま

# Message

- 高校生が地域の方と防災の未来を熱く真摯に探究されていることに感動しました。これからも頑張ってください。
- 有識者や住民の方々との防災を通じて交流できる場というのは、防災力を高める上で不可欠な場であり、とても貴重な場であると改めて感じました。立場の違う方々を上手に巻き込み、素敵な場づくりをされているプロジェクトは、企画も素晴らしいですが、その過程で生まれる人とのつながりが、皆様にとってかけがえのないものになると思います。すでに素敵な取り組みですが、ますます皆様が輝きますよう、遠くからひっそりと応援しています。
- 本日はありがとうございました。一般公開ということで色々な方に参加して頂き、様々なご意見を伺うことができました。もう少し話し合いのお時間が取れたら良かったと思いました。
- 大勢の大人の前でしっかり話す姿を見て、普段とのギャップに感心しました。職員室の先生方もみなさんほめてましたよ！これからもこの活動、頑張ってください！





## ご参加くださった皆さま

# Message

- 今日はありがとうございました。  
大変有意義な報告会で、勉強させていただきました。  
お知らせくださり、大感謝です！  
生徒さんたち、しっかりしていますね。良い意味で学習への自由度が高いことに、感じ入りました。  
大人も子どももお互いの立場から学び合える関係性が作られているところが、このプロジェクトの素晴らしさだと思います。
- 私たち大人は場をつくり、見守ることを常に続けていけば、若い人たちはどんどん自分の力を発揮します。  
その様子を観させてもらって、私たち大人も嬉しいです。

# Thank you for your support!!



